

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 363 号	氏名	三笠 昌樹
学位審査委員	主 査	弦本 敏行	
	副 査	小路 武彦	
	副 査	青柳 潔	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、脊椎動物における骨形成のメカニズムについて、転写因子 <b>Runx2</b> および <b>Tcf7</b> の役割を調べたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 レポーターアッセイ等による <b>Tcf7</b> の転写活性部位の特定化を目的とした <i>in vitro</i> の実験、ドミナントネガティブ型 <b>Tcf7</b> を発現させたトランスジェニックマウスを用いた <i>in vivo</i> の実験を組み合わせた研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、<b>Tcf7</b> プロモーターのある領域に <b>Runx2</b> の結合配列が含まれること、また、上記トランスジェニックマウスは野生型マウスに比べ骨の石灰化が遅延していることを明らかにし、今後の骨形成メカニズムの解明への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は骨形成メカニズムに関する研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			